

新晃工業

取締役
代表社長

武田 昇三



昨年は6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨9月の台風21号、北海道胆振東部地震、台風24号と自然災害が猛威を振るつた年で、幸いにも当社の製造拠点は被災することなく稼働を続けることができました。たが、輸送経路が寸断されたことで納品に支障をきたしたことが、納品に支障をきたした。当社で一時お預かりする事態になりました。とはいえ、お預かりするの量的な限界があり、外部倉庫に製品の保管を委託しました。そこで火災が発生し、4現場分の空調機が全損から半損してしまいました。お客さまには大変なご迷惑をおかけすることとなり、

様で上半期としては業績を達成する事ができました。第3四半期以降はフル生産が続いています。工場では期初比約10%アップの生産能力を確保していきましたが、それでも間に合わず、

ともう1社ほどという業界把握できるようになってい。事情の中でご注文をいただき、かなりの受注残を抱えています。納期面でご迷惑になりそうです。大きな課題は物流の確保。モノは作っても運べない状況は何としても避けたいといけま

第1四半期は生産・納期調整に苦慮する場面も多かったのですが、9月に入ってから順調に納品し、おかげ

来期はさらにもう10%は上げる必要があると判断しています。大型建築物の空調は冷温水の中央熱源方式のウエートが高くなりますが、対応できるメーカーが以前と比べると当社と、あ

せん。また、インフラ整備に關連する更新やリニューアルの納品はどうしても期日が重なり、平準化し難いのですが、メーカー責任をきちんと果たしていきま。大規模再開発やホテルの

要素技術・部品をさらに強化

要素技術・部品の強化に取り組んでいます。第1弾として従来比約15%能力アップさせたコイルを完成させました。空調機の在り方を基本からもう一度見つめ直し、当社製品に新たな価値を加えていきます。